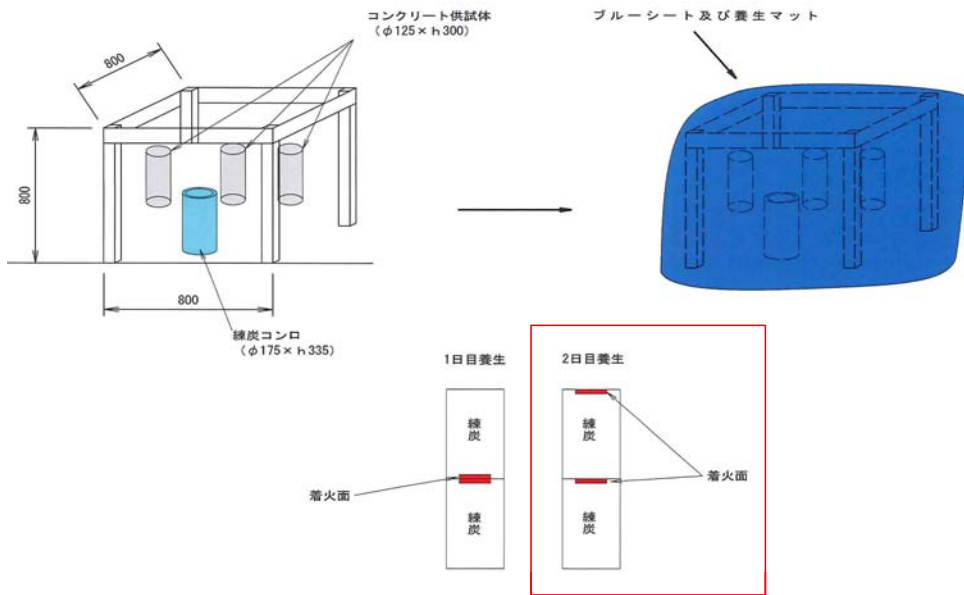


発生日時	平成 23 年 12 月 20 日 (火) 20 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	現場仮設物損傷	
事故概要	現場養生テストピースの練炭養生箇所から、付近にあった簡易トイレに引火したものの。				
	その他事故-その他事故				

事故発生状況



- ・現場にて練炭を用いてコンクリート養生を行っていた。
- ・練炭を二つ重ねた際に、着火面を上側にしたため、炎が発生した際に、覆ってあったブルーシートに炎が飛び移り、火災が発生したものの。



損傷状況

【事故発生原因】

- ・練炭の使用方法が安全でなかったため。 など

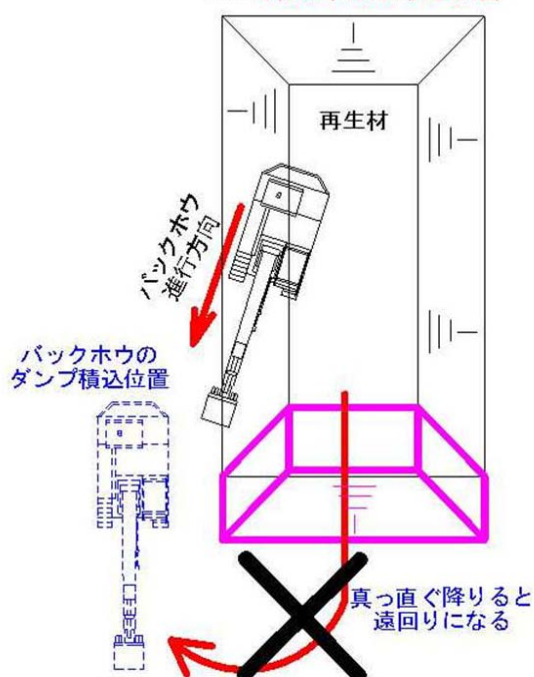
【事故防止のポイント】

- ・練炭を使用する場合は、作業員が定期的に現地を確認するなど、対策を講じること。
- ・火気に対する注意喚起を作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 24 年 3 月 15 日 (木)			9 時 20 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	バックホウ横転		
事故概要	砕石積み込み作業中、バックホウが横転したもの。					
	その他事故-建設機械等の転落、下敷き、接触、衝突等					

事故発生状況

ダンプ積み込み作業をするため、
積み込み位置へバックホウ移動。
真っ直ぐ降りると遠回りになる
ため、斜めに降りようとした。



・仮置きしてあった砕石を路盤材として使用するため、バックホウ0.7m³でダンプトラックに積み込む作業を実施。

・バックホウで再生材の上に登って作業を実施、集積作業後、ダンプに積み込みむため山から降りた際に、山の肩が崩れて横転。

【事故発生原因】

- ・再生材の天端から不安定な法面を斜めにバックホウで移動したため。
- ・誘導員をつけずにオペレータが作業したため。 など

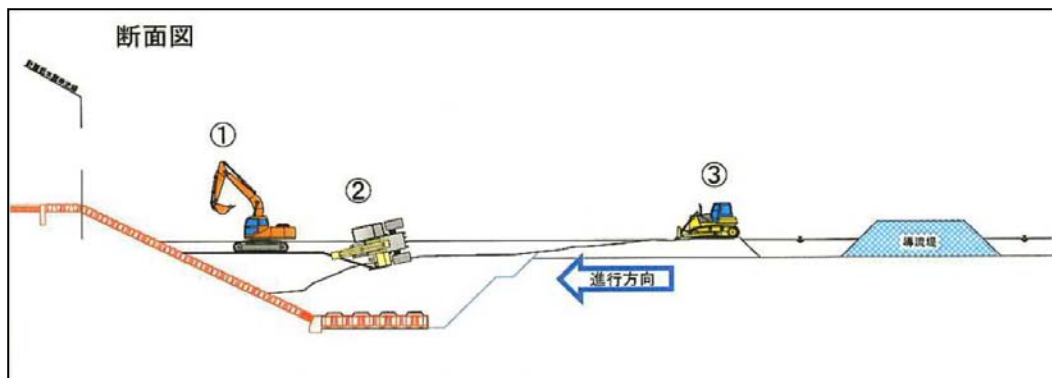
【事故防止のポイント】

- ・誘導者の配置、及び合図等誘導方法の確認。

など

発生日時	平成 24 年 3 月 16 日 (金) 11 時 5 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	バックホウ横転	
事故概要	仮締切撤去作業中、バックホウが横転したもの。				
	その他事故-建設機械等の転落、下敷き、接触、衝突等				

事故発生状況



- ・仮締切堤内の埋め戻し作業を行っていた。
- ・ブルドーザーが押した土砂を2台のバックホウ(0.7m³)で送りながら護岸法肩付近へ配り、敷均し作業を実施。
- ・2台のバックホウのうち、一台のバックホウが掘削した場所を確認せずに、もう一台のバックホウが移動したため、横転。

【事故発生原因】
 ・掘削作業における作業手順の確認が不十分だったため。
 など

【事故防止のポイント】
 ・作業手順書を遵守するよう作業員に内容を周知・徹底する。
 など